



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2015～2016 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「外に発信 内に達成感 さあ行動しよう！」

◆会長 大保木 正博 ◆幹事 坂之上 健一 ◆会報委員長 谷口 欣也 ◆会報担当 三枝 祥一

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1054 回	55 名	53 名	50 名	—	94.34%
前々回 1052 回	55 名	53 名	49 名	0 名	92.45%

<点 鐘> 会長 大保木 正博
<ロータリーソング> 奉仕の理想
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>
<本日のゲスト>
国際ロータリー第 2630 地区
濃飛グループガバナー補佐 洲岬 孝雄 様
青少年交換学生 Victoria An Mathisen 様
<本日のビジター>

Ingvar Mathisen 様
Adrienna E Mathisen 様
Isabella Thalia Mathisen 様

<会長の時間> 会長 大保木 正博

本日は今年度第 1 回目のガバナー補佐訪問です。

2630 地区濃飛グループガバナー補佐であられます洲岬孝雄様本日はよろしくお願ひいたします。

また先々週 7 月 15 日の中山中学校における出前講座に際しては、お忙しい中多くの会員の皆様のご協力をいただきましたことを感謝いたします。

昨日は地区のロータリー財団のセミナーに行きまして。委員長の今井さん、ガバナーエレクトの剣田さん、次期地区幹事の三枝さんお疲れ様でした。寄附することばかりを意識するのではなく、私たちのクラブのように補助金交付を受けて、財団の寄付と地区の補助金を一体で考えていくことが財団寄附を増やすうえでも大変重要だと感じました。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

当クラブ所属の青少年交換学生ヴィクトリアさんが 1 年間の日本滞在が終わり、いよいよ帰国されます。

遠い他国でつらいこともあったことと思いますが、よく頑張られたと思います。母国へ帰られて更なる発展を祈ると共に、また日本に、そして高山を訪れてほしいと思います。後ほど記念品を贈ります。

またロータリアンであられますお父様と、お母様と妹さんが本日例会を訪問していただきました。お父様からも後ほどスピーチをいただきたいと思ひます。

そのあとはクラブアッセンブリーと本日は盛りだくさんのプログラムとなっています。皆様よろしくお願ひいたします。



<幹事報告> 幹事 坂之上 健一

- R I 本部より
 - ・ザ・ロータリーアン誌
- 国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
 - ・夏期休暇のお知らせ
 - 8 月 13 日 (木) ～ 16 日 (日)
 - (地区事務所・ガバナーエレクト事務所同様)
- 高山西ロータリークラブより
 - ・創立 50 周年記念事業・式典・祝賀会のご案内
 - 日時：10 月 4 日 (日)
 - 会場：記念事業：日本舞踊「五耀会」公演
 - 高山市文化会館大ホール
 - 記念式典及び祝賀会：高山グリーンホテル
- ・例会変更のお知らせ
- 8 月 7 日 (金) 18:30～
- 櫻山八幡宮 納涼ゆかた例会

8 月 14 日 (金) 定款により休業

○ロータリー米山記念奨学会より

・ハイライトよねやま 184 号

<高山市青少年育成市民会議より>

・平成 27 年度少年野外活動出役の依頼

<(株) 高山市民時報社より>

・新役員選任のご案内 代表取締役 野澤 竜弥 氏

<活動計画書>

・高山 RC ・可茂 RC ・高山西 RC

・下呂 RC

<会報>

・可茂 RC ・高山 RC



<ガバナー補佐訪問>

国際ロータリー第 2630 地区

濃飛グループガバナー補佐 洲岬 孝雄 様

はからずも、この度濃飛グループガバナー補佐という重責を担いました、高山クラブの洲岬孝雄と申します。あまりに重責でございますので、非才をもってそれに耐えられ



るや否や、はなはだ戸惑っている次第でございますが、専心奮闘と申しますか、皆様方のお力をいただきながら、又、このロータリーの歴史にそむかぬよう努めてまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

私の役目といたしましては、RI 会長のテーマ、岡田ガバナーのスローガンを皆様にお伝えするとともに、地区に対するご意見、ご要望をお聞きし、地区とクラブのパイプ役として努めてまいりたいと思います。

本年度 RI 会長は、コロomboの「ラビ」ラビンドランという方で、その方の掲げられたテーマは「世界へのプレゼントになろう」でございます。これを受けて岡田ガバナーは、スローガンを「過去・現在・今・行動するロータリアン」とされました。そして、それを具体化するために五つの活動方針を重点目標とされました。

それは、一、会員増強と維持 二、財団寄付の推進 三、人道的事業の参加と推進 四、青少年（新世代）への貢献 五、デジタル化の推進とオンラインツールの利用でございます。さて、RI 会長のテーマ「世界へのプレゼントになろう」でございますが、中々わかりにくい、非常に難しいテーマであると思いますが、このテーマを皆様にわかりやすく、どう説明するか悩んでおりました所、丁度、月信の六月号に西クラブの地区広報部門委員長、伊藤松寿さんがこれについてわかりやすく説明しておられました。それをそのまま引用させていただきまして、言わば受売りでございますが RI のテーマについて説明させていただきます。一般的に人はプレゼントする時、何をプレゼントし、又、プレゼントされるのだろうか。今回の RI のテーマは「世界へのプレゼントになろう」であって、決して「世界へプレゼントをしよう」ではない。では「プレゼント」ということについて考えてみると、プレゼントの本質には「モノ」「コト」「ココロ」がある。ロータリークラブやロータリアンにとって「モノ」とはポリオワクチンに代表されるものであり、「コト」とは奉仕活動そのものであり、「ココロ」とは四つのテストの実践にほかならない。従って「プレゼント」になるものとは、ロータリークラブの存在とその奉仕活動になると考えられます。各クラブで行われる地道な奉仕活動の実践と RI への様々な協力により、世界へ通じる道が開かれるのである。こう書いてございました。まさに、言い得て妙でございます。何でもいい、世界中にいいことをしよう。まずは日本国内でということでございます。さて、RI 会長、岡田ガバナー共々、最優先課題としておりますのが、毎年言われ続けております会員増強の問題でございます。歴代のガバナーや各クラブの会長さん始め役員の皆様が一生涯懸命、増強や退会防止のために、それぞれが努力され、工夫や手当てを講じてこられました。会員減少に歯止めがかからず、それはクラブの存続、運営にかかわることでございますし、その危機的状況を打破するため、今一度増強の大切さ、必要性を再確認し、一層のご協力をお願いしなければならぬのが現状でございます。国際的には、英国、日本、米国、カナダ、オーストラリアといった先進国が減少しております。インドは十年前にガタガタになってしまいましたが、皆が色々工夫し、魅力あるクラブとして必死に努力したお陰で増えたようでございます。人口が増えたのではないのです。一人一人のロータリアンが会長を中心に、必死に増やそうという気持ちになって増やしたのです。増強している国は、インド、台湾、韓国の東南アジアや発展途上国です。時代の変化に負けず成長を続けており、経済危機の最も大変なイタリアでも会員が増えています。日本でも東日本大震災の被災地の東北地方が厳しい環境の中でも増員しております。会員の減少の要因は、「景気が悪いという経済社会の悪化や、深くロータリーを理解せず、又、理解させない。」と、ロータリー自体の変化に対するの対応、改善不足などを理由にし

てしまっていますが、そうではなくて各クラブは時代の変化に対応すると共に、地域社会のニーズに応じたクラブのあり方を求め、魅力あるクラブ活動、魅力ある例会にしていけば、退会防止も会員増強も可能であると思っております。そこで岡田ガバナーは、各クラブ純増一名以上、会員五十名以上のクラブは二名の純増を達成してほしいと願っておりますので、貴クラブの会員増強委員会を中心に、そのノルマを達成してほしいと思っております。後、ロータリー財団の一人 150 ドル以上の寄付、高校生との青少年交換を進めてほしい。これはいずれも、ガバナーの重点目標の一つ一つでございます。又、地区委員会へ出向していないクラブがあるようで、できれば各クラブから理事会の承認を得て、一人ずつは出してほしいというのが、ガバナーの願いでございます。以上が RI、地区からの要望であります。

さて、ロータリーの組織は、RI を頂点とするトップダウンのように思われがちですが、そうではなく、あくまで各クラブが基本であると思っております。各クラブには、それぞれ独特のカラー、風があり、又、個々のクラブは歴史と伝統を異にしており、それぞれのクラブの自立性・独自性を十分尊重していきますので、敢えて細かいことを申し上げるつもりはありません。ただ、一つだけとっておき、それは品のいいクラブでいてほしいと思っております。品格・品質・品性。私は比較的若いうちにこのクラブに入会させていただき、あらゆる先輩に育てていただき今日がある訳でございますが、この間例会時における、まさしくロータリアンらしい大人の雰囲気、そのクラブ独特の言葉に言い表せない空気といえますか、カラーを肌で感じ、それを今も忘れないでおります。私が自分なりに、この一年間のテーマを作るとしましたら、それは「原点に戻ろう」でございます。それぞれのクラブ。以前のクラブの空気を少しでも取り戻せないかと願っております。品のいいクラブ。それを突き詰めて言えば、それは相手を思う気持ち。相手の気持ちになってモノを考える。つまり思いやり、それに尽きるのではないかと思います。それぞれのクラブの先輩が守り伝えてきたものは、きっと思いやりなのかもしれません。高山に育まれた美意識を示す一つの言葉に「公道（こうと）」という言葉がございます。「こうと」とは一言で申し上げれば「謙虚」ということでございます。言い換えれば「控えめ」ということでしょうか。又「こうと」であるためには自分自身にゆとり、余裕がないといけないと思っております。そういった「こうと」なる人生の手本になる会員が、各クラブには沢山いらっしゃいます。そういう方々が例会を一緒に過ごすだけでも、あらゆる面でプラスになると思っております。

さて、本年度 2630 地区岡田ガバナー。昨年十二月、鈴鹿での最初の研修会に参加させていただいて以来、ガバナーの思いを色々聞かせていただきました。ここだけの話ですが、最初お会いした頃は、あらゆる会合の会費の半分を寄付しなさいとか、会合での物言いが強くて、戸惑っていましたが、何回か研修会に出席をさせていただくうちに、非常に物腰、言動が柔らかくなってきて、ガバナーがおっしゃるには、我々 AG は、最初と最後の訪問をしっかりやればいい、決められた年四回訪問する必要はないので、AG 訪問より各クラブの例会が一番大事だとおっしゃっております。各クラブの会長が中心となり、クラブを楽しく立派に運営すること。それが強いて言えば、RI 会長のテーマ「世界へのプレゼントになろう」に繋がっていくようです。そして、岡田ガバナーの最近の口癖は、例会は「元気に明るく楽しく適当に」でございます。どうやら、それがガバナーの真のお気持ちのように思います。

さて、ロータリークラブは例会時に国旗も掲げ歌も歌います。何故なのでしょう？世の中には、色々な組織がありま

す。例えば会社とか同好会等、具体的な目的をもってつくられるのが組織でございます。ロータリーという組織は、どちらかと言うと、奉仕部門を中心として社会貢献という抽象的な目標をもとに皆が団結している組織だと思えます。その組織をまとめあげるにはいくつかの方法があると思えます。

アメリカの小中学校では、朝、必ず国旗をあげて国歌を斉唱します。何故かと言いますと、ご存知のようにアメリカは他民族国家であります。アメリカ人という人種はいません。いわゆる、色々な国から集まってきていて、勿論、価値観も違います。その人たちが心一つにして、朝の始まりはこの国旗のもとに、「さあ、一日が始まるよ」と一緒になっているんだということを自覚するわけです。次に色々なものをまとめるにはシンボルがいります。抽象的なものをまとめる一つのもものがシンボルであり、ロータリーの場合、そのシンボルがロータリーの旗であります。後は、歌であります。歌を歌うことによって、人は感情が高ぶって共感を得ます。共感を得ることによって心一つになります。アメリカの例にありますように、組織を一つにまとめるには、この旗と歌。これが非常に大切だと感じております。後一つ、大事なものはスローガンであります。ロータリーの場合、それは四つのテストであります。クラブによっては、歌を歌ってから四つのテストを斉唱するクラブがいくつかありますが、このお陰でクラブがまとまっているのではないかと考えております。

そして「ロータリーの使命とは、例会において会員を立派なロータリアンに育てるということにあります」ロータリーは寄付団体ではない。ロータリーは人造りであると剣田エレクトもおっしゃっています。週に一回の例会が、週に一度しかない例会に変わった。例会時間は一時間程度ですので過ごす時間は短いのですが、しばらく会えない会員がいれば寂しくなり、いつもと様子が違えば心配になり、まるで家族のように大切に思い、家族のように大切にさせていただける。ロータリアンとしてのさまざまな活動への参加を通じて心を豊かにできるということ。その心の豊かさを自分の仕事に生かし、地域社会の豊かさに繋げていけるように固くて強い絆で結ばれたロータリーという輪の中の一人にいたい、皆がいてほしいと思えます。

「最も奉仕するもの最も報われる」「入りに学び出でて奉仕せよ」等、ロータリーだけに使われる言葉も色々ございますが、奉仕は義務ではなくロータリアンの心の欲求だと思えます。奉仕はするという精神ほど、人間社会において尊いものはありません。「世の中で一番尊いことは、人のために奉仕して、けっして思いきせないことです」と、福澤諭吉先生の心訓の中にあります。これこそが、人間の生きる道として最高のものではないでしょうか。この崇高な精神をもって、このロータリーという輪を広げていきたいと思っております。それぞれのお立場で無理のない奉仕を実践していただければと思っております。

この一年間、濃飛グループガバナー補佐としての任務、その道に対する私の才能は、はなはだ無能でございますが、皆様方のお力をいただけて務めて参りたいと思えます。勿論、不足がございましたら何なりとお教えをいただきたいと存じます。社会情勢は依然として先行き不透明、相変わらずの厳しさでございますが、皆様方のクラブだけは元気でいてほしいと思えます。又、楽しい例会には笑顔が大事だと思えます。誰もが好み、誰の心にも潤いを与えるものが笑顔だと思えます。笑いによって来るものは福だけではなく、健康や元気もやってきます。笑顔こそ、いつでもどこでも誰にでもあげられます。どんなに小さなことにも心を動かす感受性があれば人生が明るくなり、微笑と友達になれると思えます。そして何よりも私の財産は、皆様方のクラブを通じて多くの人とお付き合いをさせていただ

ていることでございます。どうぞこの一年皆様と親しくお付き合いをさせていただき、この重任を全うしてまいりたいと思えます。何卒、過分のお力添えをお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

十月十二日（月）（体育の日）アソシア高山リゾートにおいて IM を開催させていただきます。一人でも多くのご出席をお願いいたします。

交換留学生

ヴィクトリア・アン・マチセンさん

お別れの会

11 か月位前に、ここで初めての自己紹介をしました。もうすぐ帰国します。楽しんでいるときは時間が早く過ぎるでしょうね。この一年の間、素晴らしい経験が色々出来、学んだことも多く大切な思い出がたくさんありました。思い出について話したいと思えます。



日本に着いた日は、すごく疲れたけどワクワクしていました。長い間に日本の事に興味があつてずっと来てみたかったです。セントレアでホストファミリーとロータリーの方が迎えに来てくれました。皆さん優しく安心してました。初めて日本のおもてなしを経験しました。それから、学校が始まりました。学校が始まる前の日は、緊張して全然眠れなかったです。でも次の日学校に行つて安心してました。生徒たちが私に挨拶してくれたり語りかけてくれました。日に日にクラスメートと仲良くなってたくさんの思い出が出来ました。高山高校で素晴らしい高校生活が出来たと思えます。そして、弓道部にも入りました。弓道部でたくさん友達が出来て、初段取りました。先週、飛騨地区総体で団体優勝出来ました。弓道大好きで帰つてからも続けたいと思えます。ロータリーの交換学生になって本当に良かったです。ロータリーで国際的な友達が出来て色々な楽しいイベントに行つて楽しかったです。

高山中央ロータリークラブの皆さんは本当に良い人ばかりです。皆さんに出会えて嬉しかったです。ロータリーのお陰で日本に留学することが出来ましたので感謝しています。この一年間の間に4軒の素晴らしいホストファミリーと出会いました。みんなすごく優しく本当の家族みたいに接してくれました。日本の生活や文化などたくさん教えてもらって、行きたい所へ連れてってもらい、困った時にいつでも助けてくれました。ホストファミリーのお陰で、この留学が楽しく過せました。出会えて本当に嬉しかったです。楽しいこともいっぱいあったけどつらいこともありました。ホームシックになって、言葉の壁で寂し事もありました。でも、そのつらいことを乗り越えて色々成長でき私の心が強くなって来たと思えます。帰国したら、また高校に戻り大学に入るために勉強します。そして、大学の時、また留学生として日本に来たいです。日本に来て本当に良かったです。良い経験ばかりで最高な人と出会いました。この素敵な国で、私の一生の中で一番素晴らしい一年間を過ごしました。ロータリーの皆様、長い間お世話になりました。言葉で言い表せないくらい感謝いたします。心からありがとうございました。

(ヴィクトリアさんのお父さん、お母さん、妹さんが例会に出席して下さいました。お父さんから、一年間のクラブへの感謝と何よりホストファミリーへの感謝の言葉がありました)

<クラブアッセンブリー> 国際奉仕委員長 久々野 国良

【基本方針】
例会が支障なく整然と行われるように、会場準備・監督に当たる。

- 【活動計画】
- ・例会の準備及び片付けは、グループ当番制による。
 - ・例会場の準備設営は、グループ当番全員が 11 時 50 分までに集合し 12 時までに完了する。
 - ・会場準備完了後、一受付にてビジターをお迎えし、席までご案内する。
 - ・ガバナー及びガバナー補佐来訪時は、役員と共にお迎えし、例会終了後お見送りをする。
 - ・移動例会の会場設営は、例会担当委員会が行う事を原則とするが、担当委員会からの要請がある場合は協力する。
 - ・会員の親睦が図れるよう、席は月ごとに交える。
 - ・必要に応じ、備品整備や修繕を行う。



クラブ管理運営委員長 永家 将嗣

クラブ管理運営委員会統括幹事として高山中央未来委員会・創立 25 周年実行委員会の 2 委員会を高原委員長・橋本委員長とコミュニケーションを取りながらサポートしていく。

8 月 23 日の記念事業や 11 月 14 日の記念式典の成功の為に協力する。



ロータリー財団委員長 今井 俊治

委員長は今井俊治、副委員長に永井信次さん、委員に岡崎壮男さん高殿尚さん植木眞吾さんで一年間活動する予定です。

【基本方針】
ロータリー財団委員会の役割と債務を理解し、クラブにおける会員の理解を推進することとします。地区からの補助金を確保するためにも、目標として①ロータリー財団年次寄付 一人 100 ドル ②ポリオプラスプログラムへの寄付推進を掲げたいと思います。

【活動計画】
担当例会は、平成 27 年 10 月 26 日 (月) に地区のロータリー財団地区委員会から講師を派遣して頂き卓話をお願いしたいと思います。
一年間よろしくお祈りします。



<ニコニコBOX>

本年度、濃飛グループガバナー補佐を拝命致しました。至らぬ者ですがよろしくお祈り致します。

濃飛グループガバナー補佐 洲岬 孝雄 様

濃飛グループガバナー補佐洲岬 孝雄様、本日はよろしくお祈り致します。また、ヴィクトリアさんご家族のご来訪を歓迎致します。ヴィクトリアさん、最後の例会となりましたが、楽しい留学の思い出として高山中央ロータリークラブのメンバー忘れないでたまには思い出して下さい。

理事役員一同

洲岬孝雄様のご来訪を歓迎致します。大変暑い日が続いていますがお身体に気を付けてご指導よろしくお祈り致します。島 良明 山本 辰男 三枝 祥一 久々野国良

国際ロータリー第 2630 地区濃飛グループガバナー補佐 洲岬孝雄様のご来訪を歓迎致します。よろしくご指導お祈り致します。暑い毎日ですがお身体に気を付け頑張ってください。平林 英一 田中 雅昭

国際ロータリー第 2630 地区濃飛グループガバナー補佐 洲岬孝雄様、本年度はご苦労様です。ご指導よろしくお祈り致します。私事、血糖値へモグロビン A1C の数値が高すぎて明日、再検査です。皆様も健康には注意して下さい。松之本映一

アシスタントガバナー洲岬さんようこそ。40 年を越えるロータリー経験を生かし厳しさの中にもやさしいご指導をお願い致します。ホストご家族の皆様一年間ご苦労様でした。今夜の 25 周年会議よろしくお祈り致します。

橋本 修

本日、早退させて頂きます。

植木 眞吾

濃飛グループ AG 洲岬孝雄様のご来訪を歓迎致します。昨日はロータリー財団研修と一緒にさせて頂きありがとうございました。本日はよろしくお祈り致します。今井 俊治

マチセンご一家のご来訪を歓迎致します。明るくさわやかな家族ですね。先々週の連休、銀座のアップルストアを覗いたら、68 歳の女性店員が対応してくれました。「あんたいくつ、私 68 才よ。若いわね。楽しいわね。」とのせられて、つついアップルウォッチを買ってしまいました。楽しいような気がするのでニコニコへ。高木 純

ヴィクトリアファミリーようこそ高山中央ロータリークラブへ。高山を楽しんでください。下田 徳彦

7/14~7/15 に、13 年連続 13 回目の富士山登山に行って来ました。富士山の八合目にある山小屋・元祖室の干支の焼き印を 12 個押し並べる事が出来ました。応援してくれました皆様と健康と根性に感謝し、人生最後 13 回目を記念して。島 良明

7/15 中山中学校での出前講座、無事実施することが出来ました。ご参加の皆様暑い中ありがとうございました。地域の未来は私たちが子供たちにどれだけ素直に語るのかにかかっていると感じましたし、ずっと続けて行くべき事業だと思いました。中田 学

斐太高校硬式野球部の健闘を祝して。堀口 裕之

業界にて事故が続き、安全意識の向上が言われる中、発注者様より安全に対する表彰を受ける事になりました。また、7/15 の出前講座において急な欠席を致しました。皆様、特に熊崎さんには助けて頂きありがとうございました。高橋 厚生